

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 9 月 28 日(2023.9.28)

【公開番号】特開 2022-92(P2022-92A)
【公開日】令和 4 年 1 月 4 日(2022.1.4)
【年通号数】公開公報(特許)2022-001
【出願番号】特願 2020-105917(P2020-105917)
【国際特許分類】
A 6 3 F 5/04(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 5/04 6 2 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 9 月 20 日(2023.9.20)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、
前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、
遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な有利区間に制御する有利区間制御手段と、
前記有利区間において増加した遊技用価値の量である第 1 増加遊技用価値量を計数する第 1 増加遊技用価値量計数手段と、
前記有利区間において前記第 1 増加遊技用価値量が特定量を超えたときに前記有利区間を終了させる有利区間終了手段と、
前記有利状態において増加した遊技用価値の量である第 2 増加遊技用価値量を計数する第 2 増加遊技用価値量計数手段と、
前記第 2 増加遊技用価値量に基づいて特定信号を出力する特定信号出力手段と、
を備え、
前記有利状態は、前記有利状態の開始後、最初に制御される第 1 有利状態と、前記第 1 有利状態の後に制御される第 2 有利状態と、前記第 2 有利状態の後に制御可能であり、前記第 1 増加遊技用価値量が前記特定量を超えるまで継続する第 3 有利状態と、を含み、
前記第 2 増加遊技用価値量計数手段は、前記第 1 有利状態の開始から前記第 2 増加遊技用価値量の計数を開始し、前記第 2 有利状態に制御されるときに前記第 1 有利状態において計数していた前記第 2 増加遊技用価値量を引き継いで計数し、前記第 3 有利状態に制御されるときに前記第 2 有利状態において計数していた前記第 2 増加遊技用価値量を引き継いで計数し、
前記第 1 増加遊技用価値量計数手段及び前記第 2 増加遊技用価値量計数手段は、それぞれ別個にゲームに使用された遊技用価値の量を読み出して前記第 1 増加遊技用価値量及び前記第 2 増加遊技用価値量を計数する、スロットマシン。

30

40

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】変更
【補正の内容】

50

【 0 0 0 6 】

請求項 1 のスロットマシンは、

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な有利区間に制御する有利区間制御手段と、

前記有利区間において増加した遊技用価値の量である第 1 増加遊技用価値量を計数する第 1 増加遊技用価値量計数手段と、

前記有利区間において前記第 1 増加遊技用価値量が特定量を超えたときに前記有利区間を終了させる有利区間終了手段と、

前記有利状態において増加した遊技用価値の量である第 2 増加遊技用価値量を計数する第 2 増加遊技用価値量計数手段と、

前記第 2 増加遊技用価値量に基づいて特定信号を出力する特定信号出力手段と、
を備え、

前記有利状態は、前記有利状態の開始後、最初に制御される第 1 有利状態と、前記第 1 有利状態の後に制御される第 2 有利状態と、前記第 2 有利状態の後に制御可能であり、前記第 1 増加遊技用価値量が前記特定量を超えるまで継続する第 3 有利状態と、を含み、

前記第 2 増加遊技用価値量計数手段は、前記第 1 有利状態の開始から前記第 2 増加遊技用価値量の計数を開始し、前記第 2 有利状態に制御されるときに前記第 1 有利状態において計数していた前記第 2 増加遊技用価値量を引き継いで計数し、前記第 3 有利状態に制御されるときに前記第 2 有利状態において計数していた前記第 2 増加遊技用価値量を引き継いで計数し、

前記第 1 増加遊技用価値量計数手段及び前記第 2 増加遊技用価値量計数手段は、それぞれ別個にゲームに使用された遊技用価値の量を読み出して前記第 1 増加遊技用価値量及び前記第 2 増加遊技用価値量を計数する、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、有利状態において増加した遊技用価値の量である第 2 増加遊技用価値量が所定量に到達する毎に特定信号が出力されるため、特定信号を計数することで、有利状態において増加した遊技用価値の量を外部で特定することが可能となる。また、第 2 有利状態に制御されるときに第 1 有利状態において計数していた第 2 増加遊技用価値量が引き継いで計数され、第 3 有利状態に制御されるときに第 2 有利状態において計数していた第 2 増加遊技用価値量が引き継いで計数されるので、第 1 有利状態から第 2 有利状態、第 2 有利状態から第 3 有利状態に移行する場合にも、それまでに計数していた第 2 増加遊技用価値量が引き継がれることで、特定信号の計数により有利状態が開始してから増加した遊技用価値の量を正確に特定することが可能となる。

10

20

30

40

50